



KDDI Web Communications

メールセキュリティ対策  
メール誤送信防止のご提案  
【改訂版】

## メール誤送信対策の必要性

- ・なぜ、メールの誤送信対策が必要なのか？これまでの対策の見直しが必要なのか…………… P3
- ・なぜ、添付ファイル暗号化の禁止の動きが広がっているのか？…………… P4

## CPIメール誤送信防止オプションの紹介

- ・CPIのメール誤送信防止機能で実現できる対策…………… P5
- ・サービス特徴…………… P6
- ・各コースの特徴…………… P7
- ・主な機能…………… P8
- ・料金と対象プラン…………… P9
- ・料金・サービス他社比較表…………… P10
- ・導入利用手順…………… P11
- ・運用構成…………… P12
- ・メール送信時のメールメッセージ…………… P13
- ・セルフコース運用事例…………… P14
- ・Q&A…………… P15

## 企業の情報漏えいは、メール送信時に発生しやすい。 暗号化ファイルの添付とパスワード送信は禁止の動きに。

### ①発生しやすい メールの誤送信

約7割の方がメール誤送信の経験があると回答。情報漏えいは、日常で利用する頻度の高いメールでの発生確率が高いといえます。

※出展：2011年NPO 日本ネットワークセキュリティ協会  
「情報セキュリティインシデントに関する調査報告書～発生確率編～」

### ②メール誤送信が 発生する3大原因

- 宛先間違い
  - 添付ファイル間違い
  - To、Cc での一斉配信
- 単純なミスで情報漏えいが発生しています。

### ③暗号化ファイルの 添付は禁止の動きへ

暗号化したパスワード付きzip添付とパスワードメール送信は、セキュリティ観点から意味がないとして禁止の動きが広がっています。

なぜ、添付ファイル暗号化の禁止の動きが広がっているのか？

## 以前から意味のない対策と言われている暗号化した添付ファイルとパスワードの同一経路送信。マルウェア流行と政府発表で廃止が加速。

IPA(情報処理推進機構)が2012年に発行した「IPA対策のしおり シリーズ(7) 電子メール利用時の危険対策のしおり」で添付ファイルの暗号化が紹介され、日本の多くの企業でこの対策を採用しています。

本来この手段の目的は、“パスワード付きで暗号化された添付ファイルがついたメール”と“パスワード”を別経路(別手段)で送ることで、「① **中間者攻撃**による第三者の覗き見防止」「② **送信先の誤り(誤送信)**による情報漏えいの防止」の対策がとれ、リスクが軽減できるということでした。

しかし、多くの企業では、添付ファイルとパスワードを同一経路(同一手段)で送付しているケースが多く、以前から意味のない対策と言われていました。

2020年、暗号化された添付ファイルを用いたマルウェアが流行し、2020年11月17日 平井デジタル改革担当大臣が11月26日より霞が関での利用を廃止すると会見したことで、政府や企業で廃止する動きが加速しています。

# CPIのメール誤送信防止機能なら、「メール誤送信が起こる3大原因」、 「暗号化ファイルの添付とパスワード送信」の問題に対処できます。

### ①送信メールの一時保留 チェック後の送信

送信メールを一定期間隔離・保留  
できます。  
隔離・保留したメールはユーザー  
が確認し「配送」「破棄」を選択  
することができます。

### ②メール Bcc を 強制変換

「To」や「Cc」に外部宛の大量  
メールアドレスを指定した場合  
管理者・ユーザーが設定した条件  
(件数)で、強制的に「Bcc」に変換  
して送信。

### ③添付ファイルの WEBダウンロード

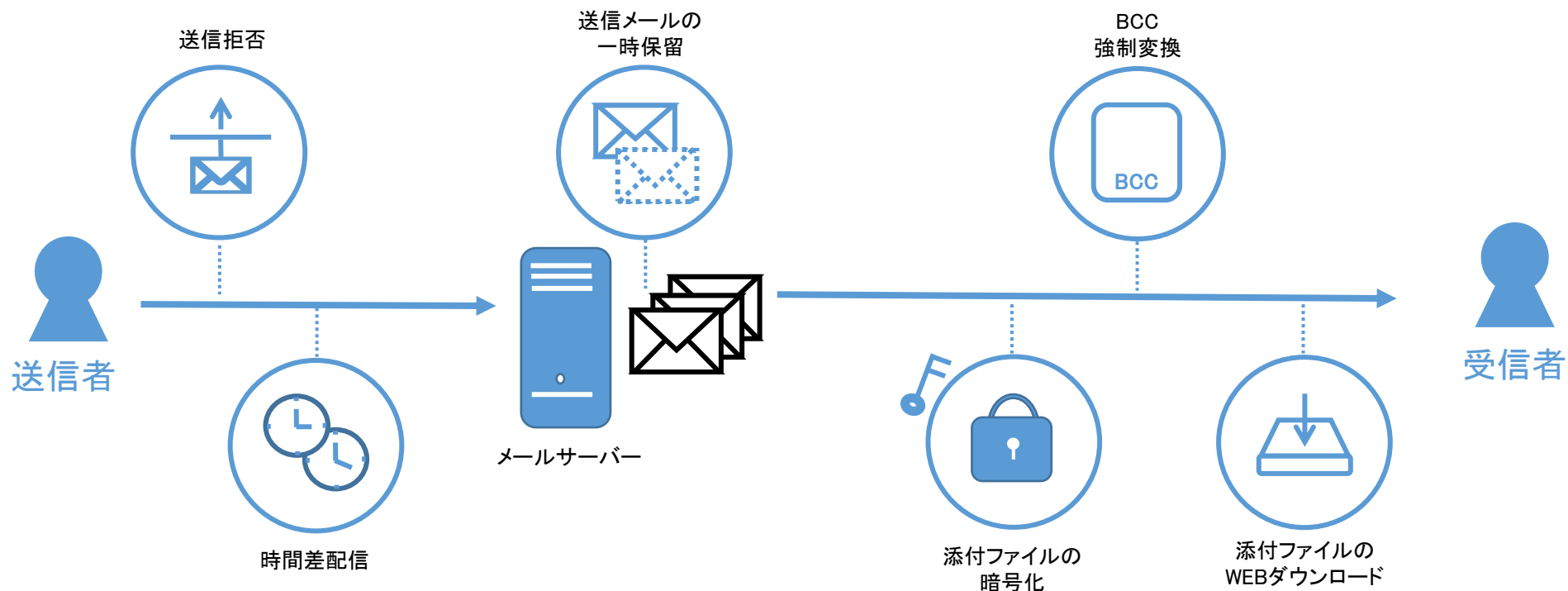
メールの宛先には直接ファイルは  
送らず、ダウンロード用URLを自動  
通知します。メールとは別経路で  
ファイルを送る事ができます。  
ダウンロードの停止もWEB上で簡  
単に行えます。

※上記以外にも、メール誤送信防止の対策に必要な機能が一通り揃っています。  
「主な機能」ページご覧ください。



CPI のメール誤送信防止機能は、メール専門メーカーのクオリティア社が開発した高機能なメール誤送信防止ソリューション「Active!gate」を採用。

受信者にメールが届くまでを細かく段階分けしておりますため各機能をご活用いただくことで、メール誤送信による情報漏えいを防ぎます。



## 各コースの特徴

標準的な設定をパッケージ化した「スタンダードコース」と、お客様のニーズに合わせて柔軟にカスタマイズができる「セルフコース」をご選択いただけます。

スタンダードコース	セルフコース(New)
<p>メール誤送信防止対策として一般的な送信メールの「一時保留機能」と「添付ファイルのWebダウンロード機能」を提供します。標準的なルール設定を入れパッケージ化しており、お申し込みから直ぐに運用開始ができます。</p> <p>以下、ご要件のお客様におすすめです。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・これまで<b>何も対策していない</b>為、手始めに導入してみたい。</li><li>・ヒューマンエラーを無くすためにも、<b>対策ツール</b>を導入したい。</li><li>・自動暗号化機能で、<b>業務を効率化</b>したい。</li><li>・<b>複雑なルール設定</b>をせずに、すぐに利用開始したい。</li></ul>	<p>スタンダードコースの良さはそのままに、より多くの機能をご利用する事ができ、お客様のポリシーに合わせたルール設定が可能です。</p> <p>以下、ご要件のお客様におすすめです。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・自社のポリシーに合わせた設定、<b>セキュリティ対策</b>を行いたい。</li><li>・利用する従業員・部門ごとに合わせた<b>カスタマイズ設定</b>をしたい。</li><li>・宛先を全てBCCにする事で、メールアドレスの<b>漏えいを防ぎたい</b>。</li><li>・社内宛てのメール送信は、添付ファイルを<b>暗号化せず送信</b>したい。</li><li>・送信先企業によっては、WEBダウンロードとZIPダウンロードを選択してメールを送る様にしたい。</li></ul>

# 主な機能

機能	概要	スタンダードコース	セルフコース
送信メールの一時保留	メールを一定期間(標準5分)隔離・保留できます。 保留されたメールはユーザ自身で確認し、「即時送信」、「破棄」する事ができます。 ※ユーザによる指定が無い場合は5分後に自動送信されます。	●	●
添付ファイルの暗号化	メールに添付されたファイルを自動的にパスワード付の暗号化ファイルに変換します。	●	●
添付ファイルのWEBダウンロード	添付ファイルを分離してメール本文のみを送信します。 分離された添付ファイルは、別途パスワードを使用しWebからダウンロードすることができます。	●	●
BCC強制変換	「To」や「Cc」に外部宛の大量メールアドレスを指定した場合、管理者・ユーザーが設定した条件(件数)で、強制的に「Bcc」に変換します。 これにより「To」や「Cc」では他の受信者に見えてしまうメールアドレスを保護し、個人情報の漏えいを防ぐことができます。	—	●
送信拒否	時間帯や送信者、キーワードなど管理者の設定した条件により、メールの送信自体を拒否することができます。送信拒否が実行された場合、送信者にそれを通知するメールを送ることができます。	—	●
時間差配信	社内、準社内(グループ会社など)、社外など、ドメインごとにメールを時間差で配信できます。 まず社内と準社内の関係者にのみ先にメールを送信し、一定時間経過後に社外の宛先に送信することで、送信者が気づかなかったうっかりミスを阻止することができます。	—	●



## ■料金

コース	ご契約単位	初期費用	月額費用
スタンダードコース	1セット (10メールアドレス)	なし	2,200円(税込)
セルフコース		なし	3,300円(税込)

※ご契約の単位はセット単位となります。  
1セットのご契約で10個のメールアドレスまでご利用いただけます。

## ■対象プラン

	共用サーバー シェアードプラン		専用サーバー マネージドプラン
プラン名	SV-Basic	ACE01	CHM-1Zシリーズ、CHM-2Zシリーズ

※マルチドメイン・バーチャルドメインのメールアドレスではご利用いただけません。

# 料金・サービス他社比較表

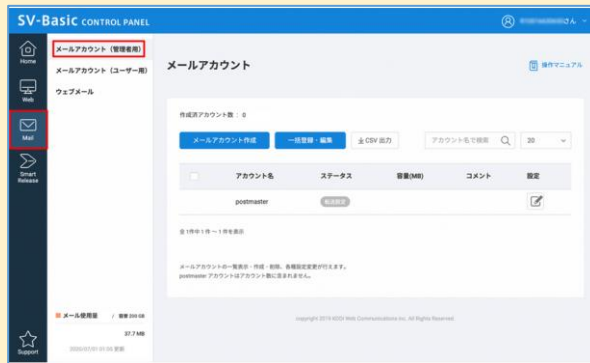
料金比較表	スタンダードコース	セルフコース	A社	B社
月額換算費用 (1セットご契約時)	2,200円	3,300円	4,350円	6,600円
年間費用 (1セットご契約時)	26,400円	39,600円	52,200円	79,200円
対応機能	<p>◎コスト重視したい方向け</p> <p>一時保留 添付ファイル暗号化 添付ファイルWEBダウンロード</p>	<p>◎機能面も重視したい方向け</p> <p>一時保留 添付ファイル暗号化 添付ファイルWEBダウンロード 時間差配信 強制BCC 送信拒否</p>	<p>一時保留 添付ファイル暗号化 添付ファイルWEBダウンロード 時間差送信 送信承認フロー</p>	<p>一時保留 添付ファイル暗号化 添付ファイルWEBダウンロード 時間差送信 送信承認フロー 強制BCC</p>

※料金は2021年5月7日時点となります。  
 ※上記金額は税込みにて表記しております。

マイページからご申請手続き後、3つの手順で手軽に導入できます。  
利用方法の詳細は、リリース後にCPI サポートサイトで公開いたします。

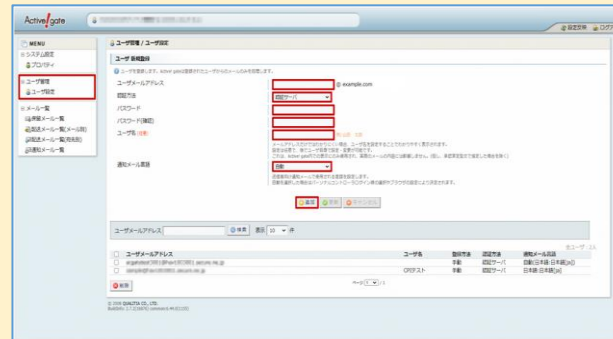
<https://support.cpi.ad.jp/>

## STEP 1 サーバー管理画面



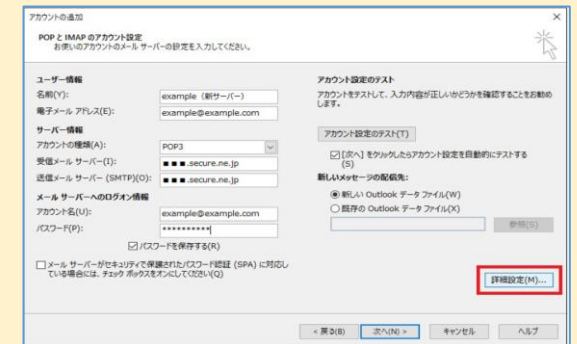
メールアカウントを登録

## STEP 2 Active!gate 管理画面



ライセンス対象アカウントを登録

## STEP 3 メールソフト

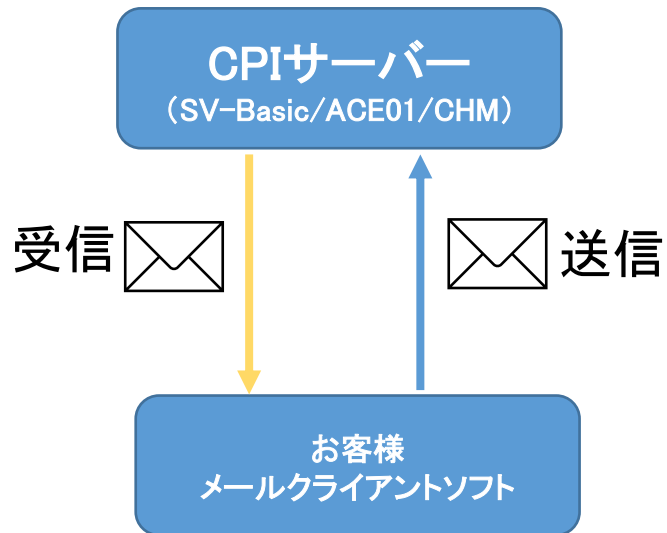


メールソフトの送信サーバー  
をkddiweb.activegate-ss.jpに設定  
(ポート番号587)

- ①メール受信サーバーは、これまで通りCPIのサーバーでのご運用となります。
- ②メール送信サーバーはActive!gate となりますので、クライアントソフトの送信サーバーにActive!gate側のホスト名を設定いただきます。

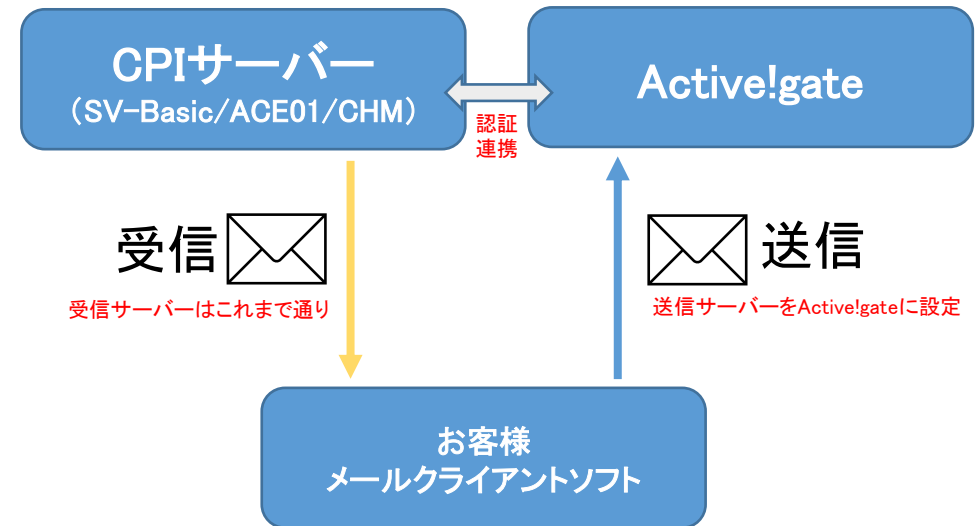
## 導入前

送受信サーバーをCPIサーバーで運用



## 導入後

送信サーバーはActive!gateで運用



# メール送信時のメールメッセージ

- ①送信後、**配送保留**のお知らせが届きます。  
5分間メールが保留されます。  
件名の頭に**[配送保留]**が追記されます。



=====  
メール配送保留のお知らせ  
=====

現在メールが保留されています。以下のURLを参照して確認してください。

[件名] 送信テスト  
[URL] <http://xxx.example.com/gate/m/?xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx>

※URLが折り返されている場合は1行につなげてアクセスしてください。

※保留されたメールは2021-02-09 06:00:00 +0900に、自動的に配送されます。

- ①添付ファイルがある場合、  
メール本文冒頭に**ダウンロードURL**のメッセージが追記されます。



=====  
添付ファイル分離のお知らせ  
=====

本メールの添付ファイルは予め分離されており、添付ファイルのダウンロードセンターは下記のURLになりますので、お手数ですが、こちらからアクセスして取得して下さい。

[URL] <http://xxx.example.com/gate/d/?yyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyyy>  
[メールアドレス] test@example.com

※URLが折り返されている場合は1行につなげてアクセスしてください。

ダウンロードセンターのパスワードは別メールで配送致します。  
しばらくお待ち下さい。

~~~~メール本部~~~~

- ②添付ファイルを付けた場合、  
配送完了後に宛先に送付された**ダウンロードパスワード**が届きます。  
件名に**[パスワード通知(自分宛)]**が追記されます。



=====  
添付ファイルダウンロードセンターパスワードのお知らせ  
=====

[件名] 送信テスト

■メールアドレス、パスワードは以下の通りです。

[メールアドレス] test@example.com  
[パスワード] gnGWym#W8C  
[ヒント] なし

- ②添付ファイルがある場合、2通目に**ダウンロードパスワード**が届きます。  
件名に**[パスワード通知]**が追記されます。



=====  
添付ファイルダウンロードセンターパスワードのお知らせ  
=====

先程送りましたメールの添付ファイルのダウンロード場所のパスワードをお知らせします。

[件名] 送信テスト  
[パスワード] gnGWym#W8C  
※添付ファイルが暗号化されている場合、同じパスワードをお試しください。

※ダウンロードセンターのURLは別のメールでお知らせします。

# セルフコース運用事例

セルフコースの運用事例をご紹介します。  
お客様の自社ポリシーを設定する際にご参考にしてください。

## 【一時保留】

- ・全社員の外部宛てメールを60分間一時保留する、内部宛て、関連会社宛てのメールは保留しない(サービス業、ほか多数)

## 【添付ファイル】

- ・添付ファイル付きのメールを送信する場合、基本的には添付ファイルをWebダウンロードで送信するが、特定のアドレスのみ添付ファイルをZIP暗号化して送る。(サービス業)
- ・外部宛てのメールに添付されているファイルのサイズが2MB以上の場合は、自動的にWebダウンロードに切り替える(製造業、ほか多数)

## 【時間差配信】

- ・新入社員や派遣社員など特定人物の送信メールを確認する事で、メール本文やマナーのチェックなど社員教育の一環として利用したい。(サービス業)
- ・テレワークをしている社員や新入社員などメール送信時に1件1件目を向けられない為、リスクを回避したい。(サービス業、ほか多数)
- ・重要な特定の顧客宛てのメールは、60分間の時間差配信(社内・関連会社のみ先に配信)をしたい。(サービス業)

## 【BCC強制変換】

- ・メールの宛先(To、Cc)に10件以上の外部宛て(外部ドメイン)のアドレスがある場合は、Bccに強制変換して送信したい。(製造業、ほか多数)
- ・メールの宛先はヘッダToに対してのみ自分自身への送信を許可とし、そのほかの宛先への送信については、Bccのみでの送信に限り可能とする(製造業)

## 【送信拒否】

- ・営業時間外(例:19:00～翌日の9:00)は、外部宛てのメール送信を拒否したい。(製造業、ほか多数)
- ・メール本文、添付ファイルに電話番号が10件以上、あるいは住所が10件以上ある場合は送信拒否したい。(製造業、ISMS取得企業)
- ・10MB以上のサイズのメールは送信を拒否する(サービス業)
- ・添付ファイルが3件以上ある場合は、送信拒否をしたい。(サービス業)



| ご質問                                          | 回答                                                                                                                    |
|----------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Q: 申請してから何日後に利用可能ですか？                        | A: 新規にご契約される場合、ご入金後、3～5営業日で設定が完了します。ご利用開始において、お客様側での登録設定が必要です。                                                        |
| Q: 既にSV-Basicでメールの運用をしているが、途中から導入することはできますか？ | A: 可能です。導入手続き後、メールの送信サーバーを指定のホスト名に変更いただく事で、ご利用できます。                                                                   |
| Q: 契約数は、1人から登録可能でしょうか？                       | A: ご契約の単位はセット単位となります。1セットのご契約で10個のメールアドレスまでご利用いただけます。                                                                 |
| Q: メールアドレスが50個あるが、必要な20個だけ契約することはできますか？      | A: 可能です。10アカウント単位でご契約となっております。                                                                                        |
| Q: 途中で必要なメールアカウントを追加することはできますか？              | A: 可能です。10アカウント単位で追加の契約が可能です。追加費用として、サーバー契約の残存契約期間分の請求をいたします。                                                         |
| Q: 導入前に検証したい。お試し環境はありますか？                    | A: 現状お試し環境はご用意しておりません。営業担当からサービスのご説明をいたします。                                                                           |
| Q: メールサーバーは他社だが、利用する事は可能でしょうか？               | A: ご利用いただけません。CPIサーバーと認証連携しておりますので、ご利用の際はCPIのメールサーバーをご利用いただく必要がございます。                                                 |
| Q: 支払いは、サーバーの更新と同時に請求されますか？                  | A: 初回請求はサーバー契約の残存契約期間分のご請求をいたします。更新時はサーバー契約期間に紐づき、同時にご請求いたします。                                                        |
| Q: 契約ライセンス以上の利用をした場合、請求されますか？                | A: ライセンス超過を確認できた場合、利用月の翌月月初に超過利用分のご請求をいたします。(10アカウント単位でのご請求となります。)<br>毎月Active!gateの管理画面上で登録されたアカウント数と契約アカウント数を照合します。 |

ご検討のほどよろしくお願ひいたします。

お問い合わせにつきましては

CPI営業本部 営業部([sales@cpi.ad.jp](mailto:sales@cpi.ad.jp))まで

お気軽にご相談ください。お電話でのご説明も可能です。